

平成24年度「みんなの審査会」対象事業の市の方向性
(平成27年2月時点)

事業番号	Ⅲ-1	事業名	公立小学校校庭の芝生化事業			
所管	教育委員会事務	局	学校管理	部	施設課・学校環境整備室	
1. 市の方向性						
事業の方向性	拡充					【市の方向性(区分)】 <input type="checkbox"/> 強化・拡充
	現状維持					
縮小	○		■ 改善済(一定の見直しがされた事業)			
廃止						
		ゼロ	縮小			
		公金投入の方向性(人件費含む)				
2. 審査結果を踏まえた市としての取組方針						
<p>○芝生化実施校における効果検証を行う 芝生化実施校における事業効果について、定性効果に加え定量的な効果検証を行う。</p> <p>○市教育委員会ホームページで公表を行う 校庭芝生化の活用状況や効果検証結果などを、市教育委員会ホームページで公表する。</p> <p>○事業改善策を検討する 「平成27年度までに全校を芝生化」としている目標に対し現状下回っていることについて、芝生化に対し条件等が適さない学校があることや維持管理のあり方などの課題を踏まえ、利用者や維持管理を担う地域、保護者などの意向把握に努め、長期的視点に立った目標の見直しや事業のあり方について検討する。</p>						
3. これまでの検討状況						
<p>○効果検証 地域、保護者、学校が協働して取り組んできた芝生化の効果について、学校を通じてアンケート調査を行い、「環境的効果」「健康面での効果」「教育面での効果」「地域コミュニティの醸成」の観点から検証を行った。環境面では非常に高い効果が認められ、健康面でも子どもたちは芝生の上を好み、快適と感じていることが分かった。芝生の面積が狭いこともあり教育面での顕著な効果は認められなかったが、地域コミュニティの醸成に関しては、学校により差異はあるものの一定の効果が認められた。 また、全国的な調査研究事例も検証し、地表温度などの環境的効果、運動量や運動能力の教育的効果、怪我の減少などの健康面での効果が認められる調査研究事例を公表した。</p> <p>○ニーズ調査 芝生化未実施校に対して、利用ニーズも含めた芝生化適否調査を実施したところ、芝生化の効果は肯定されるものの、維持管理の困難さと校庭が狭小であることの2点が芝生化に対するニーズへの阻害要因であった。その他校庭開放や校舎改修工事との兼ね合い、地域ニーズの低さ等が消極的要因として認められた。</p> <p>○検証結果の総括と今後の事業のあり方 アンケート調査や全国的な調査研究事例から芝生化の一定の効果が認められるため、芝生化実施校については維持管理の支援を継続する。なお、今後は芝生化に特化することなく、維持管理や教育効果の観点から学校の実情に応じ、校庭緑化の一環として実施することとする。</p>						
4. 平成27年度における見直しの内容						
<p>○「公立小学校校庭の芝生化事業」としては、芝生化実施校における必要な維持管理支援のみに縮小</p> <p>○新たな芝生化推進に係る経費を廃止</p> <p>○今後は、改築及び改修等の機会をとらえ、学校の実情に応じた効果的な校庭緑化の取組みを推進 (以上の見直しは平成26年度より実施)</p>						
5. 平成27年度予算への反映状況						
		平成26年度当初予算	平成27年度当初予算	増減額		
	事業費	5,558千円	5,358千円	▲200千円		
6. 今後の取組予定						
平成26年度下半期	公立小学校校庭の芝生化事業を総括し上記内容を市教育委員会ホームページにおいて公表					
平成27年度	校庭緑化の一環として芝生化実施校の維持管理を支援					
平成28年度以降	校庭緑化の一環として芝生化実施校の維持管理を支援					